

Yahoo! JAPANが2016東京招致オフィシャルパートナーに 「あの感動を再び！ 2016年オリンピックを東京に呼ぼう！」 を公開

2007年12月21日

ヤフー株式会社

Yahoo! JAPANが2016東京招致オフィシャルパートナーに 「あの感動を再び！ 2016年オリンピックを東京に呼ぼう！」を公開

「あの感動を再び！ 2016年オリンピックを東京に呼ぼう！」のアドレス

<http://event.yahoo.co.jp/tokyo2016/>

Yahoo! JAPANを運営するヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）は本日、2016東京招致オフィシャルパートナーとして特定非営利活動法人東京オリンピック招致委員会の協力の元、特集サイト「あの感動を再び！ 2016年オリンピックを東京に呼ぼう！」を公開しました（期間2007年10月30日～2009年10月2日）。

本サイトでは2016年開催のオリンピックについて、開催候補都市の情報や東京オリンピック招致関連のニュースを提供します。掲載情報の更新・追加を随時行いながら、2016年オリンピック開催都市決定までの長期間にわたりサイトを公開します。

【コンテンツの紹介】

■知ろう！ オリンピック招致計画

東京オリンピック招致委員会の活動内容や、招致スケジュールの概要、オリンピック開催計画概要などを紹介。

■トップアスリートが語る オリンピックの本当の価値

日本を代表するアスリートの、オリンピックに寄せる熱い思いを紹介。

■最新ニュース&イベント情報

招致計画に関する最新のニュースとイベント情報を紹介。

■2016年オリンピック開催候補都市はココだ！

アゼルバイジャンのバクー、アメリカ合衆国のシカゴなど、日本の東京を除く開催候補6都市を紹介。

■あなたの感動体験大募集（Yahoo!掲示板）

過去に日本で開催された東京・札幌・長野オリンピックの感動体験をお客様から募集。

今後ともYahoo! JAPANでは「スポーツの素晴らしさを考え確認しあう機会を提供し、日本のスポーツ文化の振興、発展に貢献する」ことを目的に活動を続けていきます。

【Yahoo! JAPAN】 <http://www.yahoo.co.jp/>

ヤフー株式会社（市場名：東証1部/JASDAQ,銘柄コード：4689,本社：東京都港区、設立年月日：1996年1月31日、代表取締役：井上雅博）が運営するYahoo! JAPANは、1か月あたり約4916万人のユニークカスタマー数（※1）と、1日16億ページビュー（※2）のアクセスを誇るインターネットの総合情報サイトで、検索、コンテンツ、コミュニティ、コマース、モバイルなど多くのサービスを提供しています。

（※1）2007年8月のNielsen//NetRatings「NetView AMS JP」における家庭からの視聴率88.6%、職場からの視聴率89.4%というデータをもとに、家庭、または職場からのインターネットユーザーを約5547万人（NetRatings Japan「インターネット基礎調査」より）としてYahoo! JAPANのユニークカスタマー数を算出。

（※2）ページビューは、従来ウェブサーバーからの配信回数を計測した値を採用していましたが、2007年3月からブラウザでの表示回数をCSCにより計測した値を採用しています。